



# Hands<sup>on</sup> からみなさまへのお手紙

人の恩に助けられてきた我々が、  
 スタートアップに向けて  
 自らの手(Hands)で恩(on)を送り、  
 事業を指数関数的に加速させます。

- 中野 賀通 / 中野 裕哲 / 田邊 賢司 / 高梨 大輔 / チカイケ 秀夫 / 岡村 邦博  
 安武 弘晃 / 城倉 和孝 / 加藤 彰宏 / 岩田 和宏 / 八子 知礼 / 有田 雄三 / 井村 圭介 / 河瀬 季  
 諏訪 秀一 / 三浦 高 / 有本 毅 / 渋谷 貴正 / 多胡 藤夫 / 橋本 祐造 / 小林 泰平

# 人に助けられ、 生かされてきた僕等が今度は恩を送り、 次世代につなげていきたい。

2020/03/01、HandsOnの結成を発表します。

サービスとしてはクローズドで2019/09/06（恩送り）から進めてまいりましたが、本日よりオープンな場を通して「HandsOn」としての歩みが始まります。

HandsOnのミッションは、「日本中がチャレンジをする人々に溢れ、世界をターゲットにビジネスをするのが当たり前になっている。」です。

このミッションを成し遂げるためには、僕等の力だけでは足りません。共闘していくことの出来る皆様とお会いできる事を楽しみにしています。

HandsOnは、同じ想いをもつ同志が集まった「自分の経験を元に恩を送るプラットフォーム」です。関わるメンバーはそれぞれ人生の中で「誰か」に恩を受けこれまで進んで参りました。その受けた恩を、自らの手で次世代に引き継いでいくために、ハンズオーナーとして参画しています。あるメンバーのコンセプトは「父親に受けた恩を若い起業家に送りたい」、またあるメンバーは「酒場の経営者に受けた恩を、自分を必要とする真剣な人」だったりします。

それぞれ言葉や表現方法は違いますが、「他の誰かの役に立てることを、真剣な人、チャレンジする人に最適な形で恩として送りたい」と意思の元でサービスを運営しています。

HandsOnのコア・バリューはまさしく、ハンズオーナーであり、それが全てであります。だからこそ、ハンズオーナー就任に関しては、質を保つ仕組みを用意しています。既存ハンズオーナーの3人以上の推薦が審査条件とし、既存ハンズオーナーの8割が賛成しない限り、新規加入は行わないなど厳しい基準を設定。また、将来のハンズオーナーを増やす方法として、標準化された内容のパッケージ化を行いながら、パフォーマーやサポーターなどの活動を行うメンバーから徐々に引き上げていく等を行っていきます。

# もう一度、未来を考えた時に 不安よりも先に楽しみでしようがない という日本を取り戻したい。

日々、日本という国、世界は大きく変化しています。この変化はこれまでの常識や価値観が革命的に変わる「パラダイムシフト」といえるほどの劇的なもので、ちょうど2000年あたりからインターネットの普及によるネットワーク社会の構築、インターネット革命と呼ばれる産業革命により、ものづくりの主流は「アナログ」から「デジタル」に変わっていきました。また、これにより経済活動が広く地球規模で展開される「グローバル化」が進んでいます。

さて、現在の日本はどうでしょうか？こうした世界で起こった大変革に真正面から立ち向かい挑戦し、活躍している企業はいくつあるでしょうか。世界から目を背けるもの、うまく対応できずに小さくまとまっているものも多いのではないのでしょうか。

ただ逆を返せば、この本質を理解しグローバル化を前提とした戦略を持ち、日本の企業も世界へ巻き返しを図ることは十分可能であると考えています。

今年開催される東京オリンピック2020が終わると途端に、労働者の雇用や建設バブル、不動産など特別需要が減少し、不況に向かうことは避けられないといった声もある中で、この先の日本を考えた時、多くの若い世代は不安に思っているのではないのでしょうか。

僕達は、この日本を幼い頃に見た「世界で戦う日本企業」、「楽しみな将来」を取り戻したいのです。グローバル市場の構造変化で、新興国の台頭によって市場の価値観も大きく変わりました。国際的勢力関係において、巨大市場を有する新興国の存在感が大きくなり、今や世界の経済はかつての先進国中心の時代とは大きく異なります。

私たちが経験し培ったノウハウや技術を、本気で取り組みチャレンジをする起業家につなぐ、これが日本の巻き返しを図る大きな武器になると考えています。

日本の明るい未来をつくる、それがHandsOnであると考えているのです。

# チャレンジをする人々に溢れ、 世界をターゲットにビジネスをするのが 当たり前になっている。

日本の株式市場は、アメリカ、中国に次ぐ世界3位の位置づけを維持してきたが、2019年4月に香港市場に抜かれ一時的に4位に後退しました。個々の日本企業の時価総額は後退していないものも世界やアジアの成長に乗り遅れているのは事実だと言えるでしょう。

グローバル時価総額で日本の世界経済における立場の変化、現在上位を独占するアメリカ企業の状況を見ると、この20年で金融・メーカー主導の経済から、ITを駆使したプラットフォームが世界を掌握するようになったことが見て取れます。

HandsOnは世界をターゲットにしたビジネスを、「当たり前」にしていく為、「創造性・革新性・公益性」を持ったスタートアップへの支援を進めてまいります。

## 創造性

既存のものあたらしいものを  
組み合わせて新しい価値を生むか

## 革新性

無駄に蔓延る古くからの  
習慣や考え方を壊せるか

## 公益性

多くの人が経済的安定や  
精神的豊かさを享受できるか

ハンズオーナーとしては、スタートアップの現場で生まれる多くの問題を解決し、事業を加速させていく為の姿勢を、ブランド・アイデンティティとして以下を定めております。

## 情熱

常に情熱を持ち、  
バイタリティを分ける。

## 信念

我々は正しいと固く信じる、  
スタートアップは孤独である。

## 規律

規律を重んじ、  
進んで率先垂範を実践する。

# 2030年までに世界に通用する、 ユニコーン企業を創出します。

まさに今、スタートアップを支援するキャピタリストやパートナーは増えてきており、情熱を持った起業家によるチャレンジの機会が創出されやすくなりつつあります。

ただし、実際のスタートアップの現場では解決できない問題に疲弊し、衰弱している現状もあります。この経験済のハードルに対して手を伸ばすのが僕達の役割です。HandsOnには経験豊かなハンズオーナー、サポートネットワークがあります。資金面での支援だけでなく、ハンズオーナー個々の得意領域を活かして積極的なハンズオン支援を進め、様々な問題を解決して行きます。

シードからIPOやExitまで、すべてのフェーズでハンズオンで支援が出来るようプラットフォームを用意しておりますが、今後更にラインナップを充実させ、より多くの経験豊かなハンズオーナーに参画いただきます。

スタートアップの成長を加速させ、世界に通用するユニコーン企業の創出を実現します。

商号	株式会社ハンズオン
設立	2019/09/06 (おんおくり)
資本金	1,591,000円 (いっかくじゅう)
URL	<a href="https://www.hands-on.inc/">https://www.hands-on.inc/</a>
所在地	〒170-0013 東京都豊島区東池袋四丁目24番3号 ジブラルタ生命池袋ビル9階
メール	corporate@hands-on.inc